



建築人

1

2018

大阪ホンマもん

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

大阪市中央区の三休橋筋東側に上品な雰囲気を出すレトロビルがある。今回は「小川香料大阪支店ビル」を取り上げる。

会社は明治二六年（一八九三年）で芳香原料商小川商店として大阪市東区にて創業。その後法人組織化し、拠点の建物を計画。設計は芝川ビルディングなどを手掛けた本間乙彦氏に依頼し、建築は竹中工務店が請負った。規模は地上四階、地下一階建てで、構造は鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造で建てられた。外壁は二階部分は石貼りで、上部はタイル貼りとし、いくつかの庇で水平に分節するスタイルは当時の流行であった。また、正面入口上部に設けられた八角形のステンドグラスは他にはない特徴で、全体はアールデコ調でまとめられている。竣工は昭和五年（一九三〇年）。

建物は平成二二年（二〇〇九年）に国の登録有形文化財に登録された。建物は通りに対し、重厚でありながら貴婦人のごとく上品で柔らかな風情を今も醸し出している。



建築人

1
2018

目次

2	大阪ホンマもん
3	女性分科会三〇周年リレーエッセイ ザハ・ハデイドの建物に出会って 大野治代
4	インフォメーション・事業案内
6	動静レポート
7	Topics
8	Gallery 建築作品紹介 桜橋御幸ビル 設計 日建設計 構造設計 大林組 施工 大林組
	大阪ソーダ総合研究開発センター 設計 大林組 施工 大林組
	高山商店東大阪営業所 設計・監理 一級建築士事務所 YURI DESIGN 施工 西友建設
	HANARE 設計 井上久実設計室 施工 西友建設
13	記憶の建築 松隈 洋 清心高等女学校 一九二九年 レーモンドが遺した白亜の女学校
14	建築の射程 入江智子 「建築人をめざして」〜公民連携のまちづくり〜
22	理事会報告 建築相談室から 編集後記

平成三十年年頭所感

公益社団法人大阪府建築士会
会長 岡本 森廣



新年 あけましておめでとうございます。
平素は本会活動に深いご理解とご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、建築界を取り巻く社会経済環境は、これまでとは大きく異なる変化の潮流にあります。少子高齢化、生産年齢人口の減少等に加えて、建築テクノロジーがビックデータや人工頭脳を用いたカスタマイズ・デジタル化・自動化が加速して進化しています。

これまでもとは異次元の業務変化への対応が迫られている状況にあつて、地域社会では事業規模・量の縮減、次世代後継者不足が顕著であり、いずれの建築団体も会員増強対策が喫緊の課題です。

本会では、行政や他団体との連携を促進し、既存住宅調査技術者育成、耐震、リフォーム、省エネ、ヘリテージ、まちづくり、建築相談、ICT化への対応、建築紛争に係る技術支援等の多岐に亘る社会的課題に真正面から向き合い、積極的に活動を具体化してまいります。

多様な人材を有する公益社団法人として、特に女性建築士の活動機会の創出や、行政を支援して府民の利益を擁護・増進する社会貢献活動等は、必ずや建築士並びに建築士会にポジティブな意識を醸成し、高い評価に結実するものと信じて邁進してまいります。

女性分科会三〇周年リレーエッセイ

ザハ・ハデイドの建物に出会って

委員 大野治代

サウンドオブミュージックの映像にみる広大な景色、そびえる岩峰、山々が織りなす藍色の濃淡や高山植物の咲く中を歩きたいと思ひ、オーストリアアルプスヘトレッキングに出かけた。その時、印象に残る二つの建物に出会った。一つは、南チロールにある著名な登山家の博物館（標高二二七五m）で、メスナー山岳博物館（標高二〇一五）と呼ばれ、矩形の三個のキャプセルが山肌から空間に突き出ている。もう一つは、インスブルック市街のノルドパークケーブル駅（二〇〇七）で、駅建物が氷河を連想させ、その塊からケーブルカーが発する。これらは見る人の度肝を抜き、その迫力に圧倒されるが、アルプスの壮大な景色の中には溶け込んでいる。

これらの建物はザハ・ハデイドの設計である。彼女の作品は二〇二〇年日本開催オリンピック新国立競技場 国際デザインコンクールで採用（二〇二二）されたが、実現しなかった。彼女の創作する建物空間の迫力、そのひろがり、通常の人とは異なる次元であると思った。

さて、私達の日常の仕事は、人々に安全安心・健康的で、高齢社会にも適応できる建物環境を提供することである。

その中で、大阪府建築士会女子分科会が三〇周年を迎えることになった。これは素晴らしいことである。継続が力となり、次の発展の道標としたいものである。



ノルドパーク・ケーブル駅

Others

その他のお知らせ

建築士のつどい2018

2/10 CPD第一部、第二部各2単位(予定)

建築士会に所属する建築士による各地域での活動の発表後、リノベーションの第一人者である建築家の大島芳彦先生に講演いただき、私たちの住む地域や町を元気にする手法や考え方などを、それぞれの立場から学び、考えます。建築に携わっておられる方はもちろんのこと、日頃、建築に触れることの無い方々にも、建築の世界を身近に感じていただける絶好の機会です。是非、お越し下さい。

主催 近畿建築士会協議会青年部会
日時 2月10日(土) 12:30~
会場 日本綿業倶楽部 綿業会館本館7階大会場
大阪市中央区備後町2-5-8

最寄駅 地下鉄御堂筋線「本町」駅または
地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅

第一部 12:45~14:45
近畿あきてくとVol.25
近畿2府4県の建築士会青年部による活動のうち、特に皆様を知って頂きたい事業をそれぞれ発表します。

第二部 15:25~17:45
建築家講演会 大島芳彦
テーマ リノベーションによる地域価値の再生~人が主役の小さなまちづくり~

第三部 18:00~20:00
交流会
会場 綿業会館1階会員食堂

その他 綿業会館見学ツアー
※交流会参加者優先
A 11:40~12:00(定員35名)
B 14:55~15:15(定員35名)
参加費 第一部・第二部1,000円
第三部5,000円(会員・一般)
学生無料
(学生は第一部・第二部のみ参加可)

近畿建築士会協議会女性部会
第3回 暮らしとすまいをみつめる
地域にある気候風土に適合した住宅を造るためにパッシブデザインの基礎を知り、省エネルギーな暮らしを提案するために必要な設計手法と事例を学ぶ
2/10 CPD2単位(予定)

「暮らしとすまいをみつめる」をテーマに、社会的課題の解決方法やストック社会に向けて、建築士として知っておくべきことを主眼においた継続セミナー・勉強会も3回目を迎えました。近年は住宅の省エネルギー化に向けて、様々な施策が始まっています。外皮計算や一次エネルギー等基準に応じた住宅を計算し、提供することが義務付けられ始めました。同時に、地域で長い年月をかけて培われてきた伝統的な住宅を造り続けることができるような認定ルールの策定も始まっています。建築士は、その両方の特徴を捉え、未来に残す建築物について考えなければなりません。そこで、本セミナーでは、気候風土を生かした住宅を造るために必要なパッシブデザインの基礎を知り、省エネルギーな暮らしを提案するために必要な設計手法と事例を学びます。
日時 2月10日(土) 13:30~15:45
受付13:00~
会場 日本綿業倶楽部(綿業会館)
大阪市中央区備後町2-5-8

講師 豊田保之(トヨタヤシ建築設計事務所)
参加費 会員1,000円 会員外1,500円

ヘリテージマネージャー・ステップアップ講座第1回

2/12 CPD4単位(予定)

本講座は、ヘリテージマネージャー育成講座のステップアッププログラムです。今回は、過疎化・少子高齢化により、地域の衰退が懸念されている中、文化財を保護し、活用することが考えられ、文化財を活かしたまちづくりのアイデアを提供する講座です。

日時 2月12日(月・祝) 13:30~17:00
場所 大阪府建築士会東会講室
内容 地域の持続性に歴史文化を活かす
講師 村上裕道(兵庫県教育委員会参与、文化庁地域文化創生本部総括・政策研究グループ研究官)

募集 40名程度(申込先着順。但し、大阪府ヘリテージマネージャー育成講座修了者・受講者優先。)

受講料 1,000円(当日徴収します。)
※実施1週間前頃に参加証を送信します。
問合せ 社会貢献委員会

本会の催し参加問合せ・申込先
大阪府建築士会事務局
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17
高田屋大手前ビル5階
地下鉄「谷町4丁目駅」1-B出口すぐ
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103
メール info@aba-osakafu.or.jp
HP http://www.aba-osakafu.or.jp/

Administration

行政からのお知らせ

小規模非住宅建築物
省エネルギー性能に係る実態調査
11/17~3/16

国土交通省は、平成29年11月17日から翌年3月16日までの期間で、今後の建築物に係る省エネルギー施策の検討を進めるため、300㎡未満の非住宅建築物(新築)を対象に、省エネルギー性能に係る実態調査を実施します。指定確認検査機関の確認申請窓口において、本調査に係るアンケート調査票が配布された際には、調査にご協力ください。詳細は、以下のHPをご覧ください。
日本建築士会連合会HP
http://www.kenchikushikai.or.jp/data/news/2017-11-13.pdf

平成29年度おおさか環境にやさしい建築講演会
遠藤克彦氏「建築におけるエネルギーと環境“大阪新美術館を通して”」
2/6

大阪府、大阪市では、環境配慮の取組みに優れた建築物を表彰しており、このたび表彰式と基調講演、受賞者によるプレゼンテーションを行います。

日時 2月6日(火) 13:30~16:40
会場 大阪府新別館南館8階大研修室
講師 遠藤克彦(遠藤克彦建築研究所)
テーマ 建築におけるエネルギーと環境
“大阪新美術館を通して”
参加費 無料
定員 300名
締切 1月24日(水)
問合せ 申込
大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課建築環境・設備グループ
Tel.06-6210-9725
E-mail:kenchikushido-g07@sbox.pref.osaka.lg.jp

第5回大阪市ハウジングデザインシンポジウム
第31回大阪市ハウジングデザイン賞表彰式
2/10

大阪府は、魅力ある良質な都市型集合住宅の供給、既存ストックの有効活用や、良好な維持管理を行う住宅の普及を促進するとともに、広く市民の方々や住宅供給に携わる人々の住宅に対する関心を高めていただくことを目的として、大阪市ハウジングデザイン賞を実施しています。同賞の第31回受賞住宅が決定し、表彰式を行います。

今年度は、平成29年6月20日から7月20日まで、市民の皆様や住宅供給に携わる方々からの推薦を募集したところ、234通の推薦が寄せられ、対象住宅89件を第31回大阪市ハウジングデザイン賞選考有識者会議において意見を聴取し審査しました結果、大阪市ハウジングデザイン賞に生野区の「巽NAGAYA」、西淀川区の「ゆいま〜る福」の2住宅、大阪市ハウジングデザイン賞特別賞に淀川区の「K-SOHO」の1住宅、合計3住宅を決定しました。講演やパネルディスカッションも実施します。

日時 2月10日(土) 13:30~17:00
会場 大阪市立住まい情報センター3階ホール
大阪市北区天神橋6-4-20

表彰式 第31回大阪市ハウジングデザイン賞
受賞住宅の表彰
講演 未来の都市(日本)のあり方リノベーションの関係
内山博文(u.company)様代表取締役、(一社)リノベーション住宅推進協議会会長

パネルディスカッション
「住まい・まちの価値をつくる「住み継ぎ」の手法」
定員 100名
参加費 無料
問合せ 住情報プラザ「第5回大阪市ハウジングデザインシンポジウム」係
Tel.06-6242-1160
https://www.sumai-machi-net.com/event/portal/event/33009

「建築工事標準仕様書JASS6鉄骨工事ならびに関連指針」改定講習会(大阪開催)
1/26

およそ10年ぶりに大規模な同時改定を行った、建築工事標準仕様書JASS6鉄骨工事と2冊の「鉄骨工事技術指針」および「鉄骨精度測定指針」の4冊をテキストとした講習会です。

主催 (一社)日本建築学会
日時 1月26日(金) 10:00~17:00
会場 ドーンセンター7階ホール
大阪市中央区大手前1-3-49
定員 400名
参加費 本会会員29,000円(テキスト代含)
問合せ (一社)日本建築学会近畿支部
Tel.06-6443-0538
http://www.aij.or.jp/

「つよい木造住宅のつくりかた1」
2月木造トラス勉強会
2/21

伝統の木造軸組にもルールがあります。木造軸組の意外と知られていない決まり事は、「2×4」の基準と共通する点が多くあります。一見、基準が無いと思われている伝統木造のルールを「2×4」の構造ブロックの考え方に置き換えて解説します。事例を織り交ぜ、実習の時間も設けています。

日時 2月21日(土) 13:00~17:00
終了後、会場に残り懇親会(希望者のみ)
会場 西宮市勤労会館(予定)
費用 4,000円(資料代含)
懇親会参加の場合は別途懇親会費1,000円
申込 (株)合掌
E-mail:truss@hera.eonet.ne.jp
Fax.0742-36-2929

「鋼構造座屈設計指針」改定講習会(大阪開催)
3/2

座屈現象そのものを今までよりも広い視野で観察し記述された「鋼構造座屈設計指針」の改定版の講習会です。

主催 (一社)日本建築学会構造委員会
鋼構造運営委員会
日時 3月2日(金) 10:30~16:30
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
大阪市中央区泉町2-1-11
定員 150名
受講料 本会会員14,000円(テキスト代含)
テキスト「鋼構造座屈設計指針」
問合せ (一社)日本建築学会近畿支部
Tel.06-6443-0538
http://www.aij.or.jp/

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

平成29年度建築士定期講習 2/28、3/26、3/30 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成26年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず受講してください。

日程・会場
2/28(水) 大阪国際会議場
定員300名 会場コード5C-55
3/26(月) 大阪国際会議場
定員300名 会場コード5C-06
3/30(金) 大阪府建築健康会館
定員90名 会場コード5C-56
時間 9:25～17:00
申込書必着日 2/28(水)講習:1/24(水)
3/26(月)講習:2/19(月)
3/30(金)講習:2/23(金)

※各回定員に達し次第、受付を終了します。
受講料 12,960円(消費税含)
申込書配布・受付場所
大阪府建築士会事務局
大阪府建築士事務所協会事務局
建築技術教育普及センターHPにてWEB申込みも可能となりました。

建築士会会員受講料全額補助 大阪府住宅省エネルギー設計者講習会 簡易評価法(仕様ルート・簡易計算ルート)

1/17-1/23 CPD6単位

省エネ基準の評価方法には①仕様ルート、②簡易計算ルート、③詳細計算ルートがあり、②簡易計算ルートはこれまでの③詳細計算ルートと違い、屋根・壁・開口部等の外皮各部位の面積計算をすることなく熱性能値を電卓等で簡単に計算できます。初めて省エネ計算を学ばれる方にも理解しやすく、省エネ評価入門編の『簡易評価法』について、本講習会でわかりやすく説明いたします。

日程 1月17日(水)・1月23日(火)
時間 9:40～16:30(各回共)
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
大阪市中央区和泉町2-1-11
定員 各回120名
受講料 会員 本会が補助
会員外1,000円(テキスト代含)

※建築士会会員は受講料を本会が全額補助。
申込 専用のWEBからお申込みください。
HP [\[省エネ講習会\]](#) [\[検索\]](#)
詳細は今月号同封のチラシをご覧ください。

平成29年度監理技術者講習 (監理技術者以外の方も受講可能) 1/18、2/15、3/7 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供します。監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。
日程 1/18(木)、2/15(木)、3/7(水)
時間 8:55～17:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 各回30名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み 9,500円
郵送申込み 10,000円
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

大阪府知事指定講習 平成29年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》 1/30 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。
日程 1月30日(火)
時間 9:30～16:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 120名(定員になり次第締切)
受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

大阪府知事指定講習 平成29年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》 2/9 CPD各5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習会は、国土交通大臣登録講習ではありません。)
日程 2月9日(金)
時間 10:00～15:50
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 100名(定員になり次第締切)
受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,200円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

建築士法にもとづく建築技術講習会 実務者のための設計・監理契約書講習会 2/16 CPD3単位

建築士法の一部改正に対応するため、四会連合協定建築設計・監理等業務委託契約書類

が改正され、新たに小規模向けの契約書類が発行されました。また、四会契約約款の解説書も合わせて改正され、一般向けと小規模向けのそれぞれが平成28年9月に発行されました。この新しい解説書をテキストとして、契約の重要性、約款の内容などを学習することを目的とした講習会を開催いたします。

日時 2月16日(金) 13:15～16:50
会場 大阪府建築士会会議室
定員 60名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員3,000円
後援団体会員4,000円
一般4,500円
テキスト 一般向け編テキスト4,500円
小規模向け編テキスト2,500円

建築士法にもとづく建築技術講習会 早わかり「モデル建物法」による入力シート作成解説 2/20 CPD2単位(予定)

省エネ基準への適合の可否を判断するためには、国立研究開発法人建築研究所HPの詳細計算プログラム「エネルギー消費性能計算プログラム」(標準入力法)と簡易計算プログラム「モデル建物法」のいずれかを用いて計算を行う必要があります。現在、簡易なモデル建物法が広く一般に用いられるため、同プログラムへの対応・習熟が必要不可欠です。本講習会は、モデル建物法を用いて、省エネ計算を行う上で必要な建物外皮性能計算のための空調設備データ入力手順を、事例を用いてわかりやすく短時間で解説する初心者向け講習です。
日時 2月20日(火) 13:55～16:00
会場 大阪府建築健康会館
定員 120名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員5,000円
一般7,000円

既存住宅状況調査技術者講習 新規講習2/26 CPD5単位 移行講習1/24 CPD3単位

平成28年6月に宅地建物取引業法の一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」が義務付けられる予定です。調査の実施は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められ、新たな建築士業務となります。なお、従来のインスペクター登録者は同調査を実施できませんが、その方々を対象に規定の講義の一部を免除した「移行講習」も開催します。

<新規講習>
日時 2月26日(月) 10:00～17:50
会場 大阪府建築健康会館
定員 100名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込21,060円
郵送申込21,600円
<移行講習>
日時 1月24日(水) 13:00～17:50
会場 大阪府建築士会会議室
定員 40名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込16,740円
郵送申込17,280円
<申込方法>

日本建築士会連合会HPよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

平成29年度文化遺産総合活用推進事業 「文化財の活用を通じて保存を学ぶ」 1/14・2/17・3/17

歴史的建造物を会場に、文化財所有者からその保存と活用について直接話を伺います。また着物、能楽、書道といった毎回異なる活用事例のワークショップに参加・検証を行い、最終回では受講生の皆様にワークショップ等の企画をしていただきます。これらの実践的な経験を積むことで、文化財の活用を通じた保存活動ができる力を養います。事前申込制となっておりますので本会ホームページから申込書にてFAXまたはメールでお申込ください。

日程 ①1月14日(日) 藤井家住宅(石切
グレイズ)能楽
②2月17日(土) 小彦神社:書道
③3月17日(土) 中之島図書館:ガドツアー
時間 各回共13時～16時
場所 上記登録文化財・重要文化財
※開催場所・集合時間は、「参加証」にてご案内します。
募集 各回30名(申込先着順)
※但し、ヘリテージマネージャー受講生優先。
参加費 各回2,000円
※詳細は本会ホームページをご覧ください。

第62回大阪建築コンクール募集 1/15～31

本コンクールは、建築士と社会とのかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会会員を表彰するもので、今回で第62回を迎えます。渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者を表彰します。募集対象 大阪府知事賞部門、渡辺節賞部門(完了検査済発行日で39歳以下) 両部門共建物の種類・規模は問わない

審査委員
委員長 松隈 洋(京都工芸繊維大学教授)
委員 鉦井修一(京大名誉教授)
樹田洋子(桃李舎主宰)
松岡 聡(近畿大学教授)
松田浩三(大阪府住宅まちづくり部
公共建築室室長)

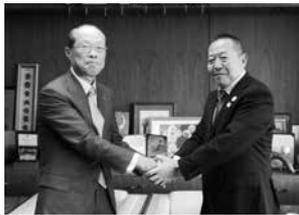
応募期間 1月15日(月)～1月31日(水)
応募資格 大阪府知事賞部門:本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者
渡辺節賞部門:本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者で完了検査済発行日に39歳以下の者

応募料 本会正会員 1作品20,000円
本会正会員外 1作品につき40,000円
※応募詳細は本号同封の第62回大阪建築コンクール応募要項をご覧ください。

動静レポート

会長動静

- 11/28 大阪府採用委員会
- 11/29 日本建築学会近畿支部記念式典
消費者関係団体との意見交換会
- 12/ 4 全日本不動産協会大阪府本部
覚書調印式
- 12/ 7 理事会（日本建築士会連合会）
- 12/ 8 建築士会全国大会「京都大会」
長野県建築士会との交流会
- 12/11 大阪府宅地建物取引業協会
覚書調印式
- 12/12 大阪府採用委員会
- 12/14 国土交通省中央建築士審査会
- 12/15 運営委員会
- 12/18 大阪府採用委員会
- 12/20 高石市副市長面談
正副会長会議、理事会
- 12/25 豊能町副町長・能勢町長面談



(右)石川
高石市副市長



(左)乾
豊能町副町長



(右)上森
能勢町長

運営委員会

全国大会京都大会に、全国から建築士3800名が参加

今年度の建築士会全国大会は「山とまちと木造建築」をテーマに、京都府知事・市長をお招きし、12月8日に京都市勧業館で開催され、全国の建築士会から3,800名、大阪からは93名が参加しました。大会式典では、平安時代から御所務めの大工である番匠が仕事初めのときの伝統

行事の「鉦（ちょうな）始め」を披露し、大会アピールでは、京都府建築士会の衛藤会長が、地域に相応しい木造建築の再興と既存住宅の流通促進に向けた活動の推進等を宣言されました。続いて、功労者や伝統技能者、連合会賞の表彰が行われました。

来年度の全国大会は10月26日に、「歴史に感謝 未来に約束」をテーマとして埼玉大会が開催されます。



左から衛藤京都会長、三井所連合会会長、江口埼玉会長

運営委員会

平成29年建築士設計製図試験合格者の発表

平成29年の建築士設計製図試験合格者の発表が12月にありました。

全国の合格者（下表）は、昨年と比べて全体で416名、率にして4.2%減少しました。

区分	合格者数(名)	合格率(%)
一級	3,365(271)	37.7(37.3)
二級	5,763(442)	53.2(51.9)
木造	247(41)	76.0(80.4)

()は大阪府の合格者

社会貢献委員会

消費者関係団体との意見交換会

11月29日に、消費者関係団体である関西消費者連合会、大阪府地域婦人団体協議会、消費者情報ネット、全国消費者生活相談員協会関西支部、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント相談員協会西日本支部の5団体と、本会の正副会長等の役員が出席し消費者の建築に関する相談の現状や本会活動・建築士に対する要望等について意見交換を行いました。まず、本会が毎日実施している建築相談には消費者から毎年約600件の相談が寄

せられ、その内容は建築の考え方やリフォーム、品質・瑕疵の相談、特に施工者との紛争トラブル相談が多いことを説明しました。また、4月に改正宅建法が施行され、取引時に説明が義務化される既存住宅状況調査の活用を消費者にPRしていただくようお願いしました。

消費者団体からは、住宅の耐震診断・補強や省エネ等の工事が適切に行われていることを消費者が判断できるわかりやすい基準の周知や、本会の現地相談における結果の書面化などの要望に対し、本会の考え方や方針を具体的に示し、改善できることは見直すことを説明し、有意義な意見交換となりました。



消費者関係団体の皆様

社会貢献委員会

不動産関係2団体と相互協力協定を締結

本会は、12月4日に（公社）全日本不動産協会大阪府本部と、12月11日に（一社）大阪府宅地建物取引業協会と、相互協力に関する覚書の調印式を行いました。

両会とは既存住宅状況調査や、宅建士に対する講習などで相互協力を行い、関係を強化することで合意し、今後はインスペクション活動などにおける具体的な協力内容について、双方の担当委員が実務レベルで協議を行うこととしています。



(右)堀田
全日本不動産協会大阪府本部長



(右)阪井
大阪府宅地建物取引業協会会長

まちづくり分科会 20 周年シンポジウム「これまでの 20 年とこれからの 20 年」報告

日程：平成 29 年 11 月 29 日（水） 会場：大阪府建築士会東会議室 参加者：23 名



北野幹夫（理事）

まちづくり分科会は、今年で活動 20 年目の節目となるため、記念シンポジウムを開催しました。

まず、活動履歴の説明を行いました。

内容は 5 つに分類でき、早いものから、

①地域まちづくりを担う建築士を 10 年間調査（「まちづくり建築士はどうすれば食べていけるか」などがテーマ）。

②まちに配慮した建築空間等を市民が写真を撮り、それらを市民と建築士と一緒に公開審査する「まちへの気配り賞」を毎年 1 回、計 10 回実施。

③景観法に基づき 3 自治体（大阪市・吹田市・箕面市）から指定された景観整備機構団体として活動。

④近代建築・大阪長屋に関する企画（ヘリテージマネージャー育成講座の第 1 回目は、本分科会が担当しました。）、講演会、まち歩き、他団体支援や後援活動。

⑤この 20 年間でまちづくり団体を総計 49 件支援してきた地域貢献活動助成についてでした。

次に、6 人の歴代委員長がパネリストとなり、苦労話や成果と反省点について熱っぽく語り合いました。

紙面の都合上、一部だけの紹介になりますが、気配り賞の受賞作品がヒントになり、実際の建築デザインに活かされたこと。本分科会が後援した長屋再生で、学生が壁塗りなど再生作業を体験して、教育的効果が非常に大きかったとの話が印象に残りました。

会場からは、地域で景観まちづくりを進める建築士の方から、手弁当で長年活動を続ける実際の話も聞きました。

シンポジウム後、本分科会の活動に大変関心を持ったとか、建築士のこうした多様なまちづくり活動を知らなかったな

ど、ご意見をいただき、活動の励みとなりました。

今後も、新たなまちづくりのニーズに応え活動していきたいと思えます。



第 60 回 建築士会全国大会「京都大会」に参加して

日程：平成 29 年 12 月 8 日（金）・9 日（土） 会場：京都市勤業館みやこめッセ 参加者：93 名



石貴方子（副会長）

12 月 8 日に全国大会京都大会が行われました。人気の京都での開催という事で、全国から約 3,800 名の方々が参加されたそうです。初日の午前中はまちづくりや青年・女性など 5 つに分かれてセッションが行われ、午後は記念フォーラムで「山とまちと木造建築」をテーマに山や京都の暮らし、木造等についてリリーススピーチと、ディスカッションが行われました。大会では冒頭に番匠保存会の方々による新始めの厳かな雰囲気とともにスタート。そして大交流会では「京都居酒屋物語」と題した大会では珍しい、屋台をイメージした着座での交流会で、伏見のお酒をいただきながら、舞妓さん芸妓さんと記念撮影会に盛り上がりしました。8 日の夜の最後の行事は長野県建築士会とのがんこ高瀬川二条苑での交流会でした。久々に長野士会の皆様と再会して元気をいただき、また二条苑の美しい庭園を堪

能いたしました。8 日の夜は女性 6 人で五条の町家に宿泊し、長い 1 日が楽しく終わりました。

9 日のエクスカージョンは、I コース「水の都 歴史と賑わい・酒づくりのまち伏見」に参加しました。最初に京都聖母女学院、次に外国人観光客があふれる伏見稲荷へ、そして静かな伏見の御香宮神社、鳥せい、月桂冠大倉記念館、寺田屋、黄桜カップ記念館と時代毎の面影を残す伏見のまちを巡りました。京都は毎週お茶のお稽古で通っているのですが、まだまだ知らない場所がたくさんあるようです。京都府建築士会の皆さまが 3 年前から入念な準備を重ねられ、特に女性委員の皆さまはいつも御着物でパワフルに本当に頑張ってくられ、大変な盛会で終了いたしました。お土産に頂いたカレンダーは今年 12 月の京都大会から始まり、18 月のエクスカージョンで毎月が構成されて

います。これから 1 年半このカレンダーを見る毎に京都大会を思い出す事でしょう。伝統と現代技術が共存する京都での印象深い大会であったと思います。





四ツ橋筋と国道2号線に面する桜橋の交差点に立地し、不整形な台形で狭隘な敷地にあっても、周辺のビルに埋もれない競争力の高いテナントオフィスビルを目指した。外観は台形平面の対角を結ぶ緩やかな円弧を描くエッジの効いたスカイラインと、各階スパンドレル部に設けたPC製の三重庇を積層して水平線を強調し、また通りを遠くまで望むことができる立地特性を活かして、交差点角に面するコーナー部はフルハイトサッシュとして、街に開かれた佇まいとした。平面計画は最大限整形なオフィススペースを確保するようL字型に配置し、コアはX階段の採用よりコンパクトにまとめ、基準階でレンタル比77%を実現している。

所在地：大阪市北区
用途：貸事務所・店舗
竣工：2017.09
構造規模：鉄骨造
地上14階
塔屋1階
敷地面積：863.29㎡
建築面積：737.41㎡
延床面積：9,577.28㎡
写真：鈴木研一
写真事務所



創立100周年を迎え、新規事業の研究機能を強化する目的で、総合研究開発センターは計画された。施設は4階建てで、中央の共用エリアを挟んで南北に研究エリアを配置している。共用エリアには4層を貫く光庭とその周りに立体的に配置した階段・吹抜を中心に様々な交流の場を仕掛けることで、研究者間のコミュニケーションを活性化し、様々なシーンで打合せや情報の発信が展開される空間を提供した。この空間特性と内部で行われる技術開発の結集が、企業理念を体現するものとして、内部機能をファサードに表出させ、工業地帯に大阪ソーダとしての新たな風景を創った。

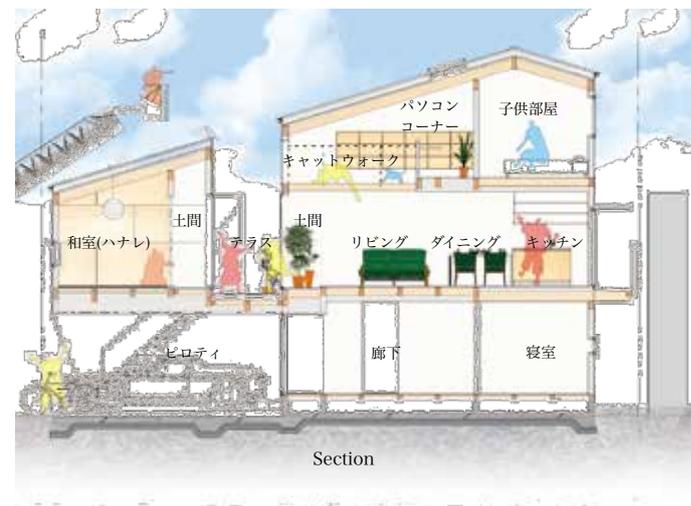
(児玉克史／吉田悠佑)

所在地：兵庫県尼崎市
用途：研究所
竣工：2017.11
構造規模：S造・地上4階
敷地面積：3,4315.81㎡
建築面積：1,260.51㎡
延床面積：4,567.03㎡
写真：伸和



町工場の多い東大阪市の交差点に計画された、塗料の卸売販売兼倉庫。4t車が東の交差点から進入し、敷地内を一方通行で南の道路に抜けるため、その軌道から楕円形の平面をもつ建物になった。1階は倉庫。2階はオフィス。屋上は憩いの場として様々な種類の植物と土舗装の散歩道、木製のベンチが設えられた。外周のプランターに植えられた蔓植物が外壁に下垂して、地上の植物とともに、潤いのある街並みを形成することを目指して。

所在地：大阪府東大阪市
 用途：倉庫兼事務所
 竣工：2017.10
 構造規模：鉄筋コンクリート造
 2階建て
 敷地面積：709.89㎡
 建築面積：212.22㎡
 延床面積：407.43㎡
 写真：喜多章



敷地は大阪市南部の住宅街。商店街に程近く、行き交う人々が街に活気と賑わいを与えています。この賑わいに囲まれた18坪の敷地に、小さくとも豊かさや静けさを感じられることをテーマにしました。街の賑わいから距離を取るために、道路から真っ直ぐに伸びる階段を上った先に、空が抜けたテラスと、テラスを挟む2つの土間を配し、その空間を玄関としています。このテラスと土間からなる一体の空間は、時には内部空間として、ハナレ(和室)とリビングを繋げ、また、時には外部空間として、賑やかな街との緩衝帯となります。ハナレに行くには、土間からテラス、テラスから土間と進む事で、この和室が特別なものであるという感覚を演出し、住まい手に豊かさを感じて貰えると期待しています。(井上久実)

所在地：大阪市東住吉区
用途：専用住宅
竣工：2017.05
構造規模：木造
敷地面積：59.90㎡
建築面積：44.36㎡
延床面積：100.12㎡
写真：富田英次

第10回建築人賞 第一次審査会（公開）

主催：公益社団法人 大阪府建築士会

公益社団法人 大阪府建築士会では
会誌『建築人』の Gallery に掲載された建築作品を対象に
社会性、芸術性、時代性を考慮して、顕彰、公表することにより
建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的として
「建築人賞」を実施しています。
「第10回建築人賞」では、審査委員長・古谷誠章氏のご参加の元
第一次審査を公開で実施します。
皆様ご参加の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

審査委員長 古谷 誠章（早稲田大学教授）



1955年 東京都生まれ
1978年 早稲田大学理工学部建築学科卒
1980年 早稲田大学大学院修了
1986～87年 文化庁芸術家在外研修員として
マリオ・ボッタ事務所在籍
1994年～ 八木佐千子とスタジオナスカ
(現NASCA) 共同設立
1994年～ 早稲田大学理工学部助教授
1997年～ 早稲田大学教授
2014年～ 第6回建築人賞より審査委員長就任

■「第10回建築人賞」第一次審査会開催について

日時：平成 30 年 2 月 3 日（土）
13 時 00 分～17 時 30 分（開場 12 時 30 分）
会場：いちょうホール
大阪市中央区本町 4-1-13 御堂ビル 1 階
定員：100 名（当日先着順申込不要、入場無料）

■「第10回建築人賞」実施概要について

主催：公益社団法人大阪府建築士会
審査委員長：古谷誠章（建築家・早稲田大学教授）
審査対象作品：『建築人』2017 年 1 月号から 12 月号まで
Gallery に掲載された建築作品

※建築種別、建築地を問わない。但し、竣工検査済証を受けたもの

審査方法（2段階審査）：
第一次審査 公開プレゼンテーションにより選定
第二次審査 現地確認により選定
表彰（設計者に対して）：
建築人賞（賞状と記念盾）、建築人奨励賞（賞状）
※建築主・施工者には感謝状授与

受賞発表：『建築人』2018 年 7 月号誌面（予定）

■ 問い合わせ

公益社団法人大阪府建築士会「建築人賞」係
TEL 06-6947-1961 FAX 06-6943-7103



建築人賞 記念盾 「未来へ！」
ガラスアーティスト 三浦啓子作

今から八十八年も前の一九二九年に竣工した建物が、これほど良い状態を保って現役で使われているのかと心底驚かされた。今年十一月二日、アントニン・レーモンドが岡山市に手がけた清心高等女学校（現・ノートルダム清心女子大学）を初めて訪れた際の印象だ。おりしも、同日の午後、「瀬戸内近現代建築魅力発信協議会」という新しい組織の設立会合があり、岡山県からアドバイザーを依頼されていた。この協議会は、岡山県呼びかけで、「瀬戸内の近現代建築を地域における貴重な文化資産と捉え、瀬戸内地域で連携してその魅力を情報発信し、観光資源化を図る」ことを目的に、瀬戸内七県（兵庫、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛）の建築・観光部局とせとうち観光推進機構によって設立された広域の建築文化ネットワークである。その当日に地元の高貴な建築遺産に触れたことで、この活動の意義と使命を再確認させられた。同時に、現代の私たちは身近な近代建築の存在価値を共有する喜びを蓄積していないのではないかとの思いも強くなった。

関東大震災直前の一九一九年の大晦日、帝国ホテルの建設の助手としてフランク・ロイド・ライトに伴って初来日したレーモンドは、庶民の暮らす日本の木造の町並みが醸し出す寛いだ雰囲気には魅せられる。そして、早くも一九二一年にはライトの下を離れ、自らの設計活動をスタートさせる。その草創期に、東京女子大学を起点に、一九二〇年代から三〇年代にかけて、ミッション系の学校を全国各地に手がけていく。だが、東京女子大学に典型的に見られるように、そこにはライトからの影響が色濃く反映されていた。そこで、レーモンドは、日本の日常を形づくる木造の建築に学びながら、ライトの方法からの離脱を模索し始める。おそらく、そうした試行錯誤の中で、自らの独自性を打ち出す手ごたえを感じたのが、清心女子高等女学校だったに違いない。自伝の中で、レーモンドは、当時を振り返って、次のような回想を記している。

「新しい施主は、東京にある国際的な修道院の東京聖心学院（一九二四）であった。その新しい学校のデザインには、まだフランク・ロイド・ライトの影響が強く残され

る。おそらく、そうした試行錯誤の中で、自らの独自性を打ち出す手ごたえを感じたのが、清心女子高等女学校だったに違いない。自伝の中で、レーモンドは、当時を振り返って、次のような回想を記している。

記憶の建築 松隈 洋

清心高等女学校 1929年
レーモンドが遺した白亜の女学校



南西より見る聖堂外観



光あふれる聖堂の内部

「新しい施主は、東京にある国際的な修道院の東京聖心学院（一九二四）であった。その新しい学校のデザインには、まだフランク・ロイド・ライトの影響が強く残され、その新しさを満ちた室内が誕生する。また、東京女子大学で斬新な絵柄の色鮮やかなステンドグラスを多用したライトの手法とは異なり、より単純な形のフレームと淡い色調の色ガラスを用いることで、透明感あふ

ていた。だが、神戸郊外の小林にある神戸聖学院（一九二六）や、岡山の清心女学校（一九二八）のデザインでは、ライトの影響はぬぐい去られ、東京聖心学院にくらべれば構造はさらに明確になり単純になった。（アントニン・レーモンド著、三沢浩訳『自伝アントニン・レーモンド』鹿島出版会一九七〇年）

これらの学校を手がける中で、装飾過多のライトのデザインを脱するためにレーモンドが目指したのは、日本の木造建築から学んだ構造体の明確化と単純化、そして、内外空間の連続性の実現だったのだと思う。この女学校では、装飾や余分な壁は削ぎ落とされ、シンプルな骨格に純化された柱と梁に囲まれた大きな窓から自然光の差し込む明らさに満ちた室内が誕生する。また、東京女子大学で斬新な絵柄の色鮮やかなステンドグラスを多用したライトの手法とは異なり、より単純な形のフレームと淡い色調の色ガラスを用いることで、透明感あふ

室の出入口は引戸となっており、廊下側の壁にはのぞき窓を兼ねた換気用の丸窓が設けられるなど、日本から学んだと思われる工夫や造形が目を見張る。もちろん、清潔に保つために、幅木や階段などは職人の手仕事による人工石の研ぎ出しで仕上げられ、階段の鼻先にはタイルが埋め込まれている。こうして、校舎全体に凛とした清新な空気が流れていて心地よい。

しかし、竣工時に東洋一の白亜の殿堂と称されたこの女学校は、続く戦時下に過酷な試練へと巻き込まれていく。大学に残る資料によれば、アメリカ人のシスターは、強制収容の後、母国へ強制送還され、日本人シスターも修道服の着用を禁止されたという。そして、白く輝いていた校舎も、空襲を避けるために、コルタールで全面的に黒く塗られてしまったのである。現在の校舎には当時の黒い外壁の一部がそのまま保存されており、戦時下の暗い歴史を今に伝える。それでも、幸いなことに、一九四五年六月二九日に市街地の七割を焼失した岡上空襲でも、この校舎は奇跡的に空襲を免れ、戦後復興の中で、帰校したシスターたちの努力によって、静かな学園の姿を取り戻していく。その後、一九九六年に高層の中央棟（設計／村上徹）が建てられたが、レーモンドの校舎は大切に守られ、二〇〇七年に国の登録有形文化財に指定される。

この女学校の竣工時にル・コルビュジエのアトリエにいた前川國男が、岡山の戦後復興の起点となる県庁舎を手がけるのも何かの縁だろうか。戦争を挟んで師弟の建築が共存する奇跡を噛みしめておきたい。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授、博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

大阪府大東市では2016年10月にまちづくり会社を設立し、人口減少・少子高齢化の将来を見据えながら積極的なまちづくりが進められています。まちづくり会社唯一の従業員で事業推進部長を務める入江智子さんにその活動内容をご紹介します。

「健康人をめざして」～公民連携のまちづくり～

入江 智子

大東公民連携まちづくり事業株式会社 事業推進部長

1976年生まれ。京都工芸繊維大学卒業後、大東市役所に入庁、主に学校や市営住宅などの公共施設の営繕業務に従事。2017年4月より現職。二級建築士。

1. 公務員、パン屋をつくる

大阪府大東市は、JR東西線で北新地駅から一五分の住道（すみのどう）駅を中心に、生駒山のふもとに広がる人口約一二十万人の都市です。大阪市や北摂地域への人口流出が続く中、府内でも早い二〇一五年九月に地方創生の総合戦略を策定。これからのまちづくりでは、大阪市にはないもので大東市が既に有しているものを磨こう、市民や民間を主役に据えよう、市はそのための環境整備を行う黒子役に徹しようとなりました。この総合戦略を中心となってとりまとめた東京宏地方創生局長と東坂浩一大東市長は、当時市営住宅の建替計画を担当していた私に、公民連携のまちづくりを学ばべく、「稼ぐインフラ」とも呼ばれる岩手県紫波（しわ）町の「オガールプラザ」代表である岡崎正信氏の元での研修を命じたのでした。

紫波町は盛岡市と花巻市の中間に位置する人口三万三千人の農業を中心産業としたまちですが、JR紫波中央駅前の地価は二〇一二年から四年連続で上昇しています。二〇〇九年、雪捨て場でしたかかった駅前一〇・七haの町有地は、民間まちづくり会社が主導し、補助金に頼らず、公共施設と民間施設の境目ない開発を行う「オガールプロジェクト（注1）」によって、徐々に姿を変えて来ました。三人の子供と共に紫波町に入った二〇一六年四月、年間一〇〇万人の来場者を誇るエリアとなったオガールは、その開発最終年度を迎えていました。私に与えられた仕事は、町民がチャレンジ出来る場の創出として、病児保育室併設の小児科、町教育センター、アウトドアショップなどの商業テナントが入る民間施設「オ

ガールセンター」の建設と、中に入るベーカーリー店舗の開発でした。オガールベーカーリー株式会社を立ち上げ、一日のパンの売上目標から、初期投資額、ランニング費用を算出しました。機器の能力に加え、職人の技術も確立させなければ目標の売上には届きません。人研ぎのカウンターや陳列トレイの細部に至るまで苦労を重ねた店（写真A）が無事オープンに漕ぎ着けた時は、まちの風景を一つ変えることが出来た喜びを感じました。オガールでは、これらテナントが支払える家賃、必要とする面積から建設する建物の規模・仕様を決めています。何かをやりたい事業オーナーと、それを受ける不動産オーナーがいて、それぞれの事業計画が金融融資を通り、はじめて建つのが民間施設です。この当たり前ステップを経ずに建つ公共施設の甘さを思い知つたと同時に、まちなみのデザインコントロールの重要性、芝生広場などのランドスケープの価値、図書館などの公共施設の集客力を再認識し、公が環境整備をすることに民の商機が大きく広がることも実感しました。

他の地域で、紫波町の例を形だけ真似ても上手くいくはずはありません。大東市は、市営住宅の建替についても、エージェンツ型PPP（Public Private Partnership）と呼ばれるこの公民連携まちづくりの手法は、市の財政負担の軽減につながるだけでなく、エージェンツ会社が出資や事業を行い、責任を持ってエリアをマネジメントする、だからこそ思い切ったまちづくりも出来る、ということを庁内外に説明しました。地域住民と話し合いを重ねた結果、まちづくり会社が民間賃貸住宅や商業施設を建て、市



写真A

は一部を市営住宅として借り上げる他、公園や道路の整備を担いエリア全体の価値向上を目指す「北条まちづくりプロジェクト（図BC）」が二〇一六年の末に了承されました。オガールから戻り、市役所を退職派遣となった私がまちづくり会社の実務を担うことで、二〇二〇年の完成に向け、現在プロジェクトは進行しています。

2. 健康まちづくり

自治体の構想である大東市公民連携基本計画（注2）には、北条まちづくりプロジェクトに加え、深野北小学校跡地活用プロジェクト、住道駅周辺活性化プロジェクト、健康づくりプロジェクトの計四つのリードプロジェクトが挙げられています。まちづくり会社はこれらを網羅的に進める必要がありました。

国にも市にも地域にも、多くの将来課題があります。それらを同時複数の課題に解決し、人々のライフスタイルが少し豊かなものとなり、地域の中でお金が回った結果、税収の中から真に必要な質の高い

多様な賃貸住宅と地域住民交流を図るハブ空間（コモンスペース）

【本道低層の多様な賃貸住宅】

1. 市営住宅：約50㎡×64戸→段階的に民間化
2. 一般民営賃貸住宅→約45㎡×16戸
3. 民間小規模店舗併用住宅→約100㎡×10戸
(住宅部分60㎡+店舗部分40㎡程度)
上で住んで、下で販売を行う。
昼間に活動する住民のアクティビティが
群とつながる場となる。

【権現川親水パーク】
川へ通じた部分の地盤高を約1m下げ、
権現川を身近に感じられる場所を作る。

【パブリックスペース（共同設備）と買かれたラウンジ】
共同設備には緑地を設け、境界をぼかす。
お風呂上がりの高齢者が涼み、その横で子供が遊ぶ。
自然とアクティビティが交差する。

【ブランチーカフェ/生鮮食品マルシェ】
広場に日常のリズムを作り、
日常的な地域住民交流を図る。

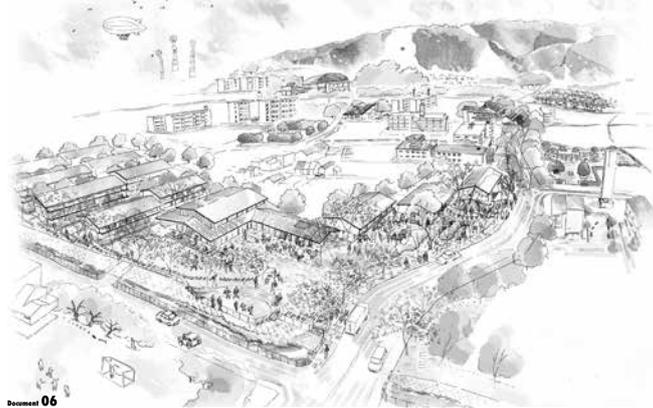
【北条の絆】

知行した道の合間に住民が癒える溜まりを設ける。
街路樹として季節を感じる常緑広葉樹を植樹。



図 C

■権現川公園敷地 イメージスケッチ



Document 06

【Proposed Plan】Daiichi-City Hojo Project 大東市公民館民営アドバイザー業務 北条まちづくりプロジェクト 基本計画案

※掲載の図は必ずしも実際の計画と一致するものではありません。

図 B



写真 D

公共サービスが提供されるという、一見不可能なようで、縮退の時代においては、公はこれらをセットで考えなければまちづくりが出来ません。民の投資意欲もここに集まって来ています。整備にかかると投資は最小限に限り、地域の資源（モノ・人）を活用することも共通認識です。深野北小学校跡地活用プロジェクトでは、地元の企業や大学が連携し、廃校の形状を生かしながら、観光や教育旅行も視野に入れ、相撲やパラスポーツなどの体験施設としても整備を進めています。健康づくりプロジェクトでは、理学療法士である逢坂伸子高齢介護課参事が二〇〇五年から進めてきた「大東元気でまっせ体操（写真D）」という通いの場づくりを中心とした介護予防事業に、建築の視点で「歩いて楽しいまち」、「高断熱・高気密住宅」などを掛け合わせ、さらに健康寿命を延ばします。健康づくりでキーとなるのはやはり人です。体操拠点が現在一〇八ヶ所にまで広まったのも、きっかけは「寝たきりならんで儲かりまっせ」を合言葉に、市職員がカラオケサークル

などの各種団体に外向き、「歌っているだけではいつか誰かが通えなくなりますよ」などと話し、すでにある集まりに、この体操を準備運動として取り入れることを、住民自身が選び取ってくれるように働きかけたことからです。効果を実感して、人々の意識が変わった結果、口コミで広まりました。高齢でたとえ虚弱になっても、障害があったり、生活が困窮しても、誰もが地域で活動的に暮らし続けるために必要な手は、公と民の総力戦で、先手先手で打っていきたいと思います。

3・大東ズンチャツチャ夜市

大東市にある資源を磨くという点では、住道駅前でダイナミックに合流する寝屋川、恩智川とその上にかかる駅前デッキを生かささない手はありません。住道駅周辺活性化プロジェクトの一つとして、デッキからの夕景を、美味しいご飯と音楽と共に楽しむ夜市（写真E）を毎月最終水曜日に行っています。市内の飲食店や、実店舗を持ついないクラフト作家達に声を掛け、デザインされた空間に四〇店舗ほどが連なるようになりました。SNSでも発信され、知名度も少しずつ上がっているようです。何より、道路という機能しかなかった場所が、まちの人達が楽しんでお金を落とし、実店舗の新規顧客獲得にも繋がっているのです。ここから生まれた、まちの風景を変える店がどこかにオープンすることを想って、そこに出来る建築を想って、今日もまちづくりへの挑戦を続けます。

（注1 <http://ogah-shiwacom/>）
（注2 <http://www.city.daito.lg.jp/kakukakara-noostrase/thisonseisei/thisonseisei/kooun-in/1489136547620.html>）



写真 E

ユーザー対象の設計相談
住宅の設計者問い合わせ
に対応する

登録者募集

(公社)大阪府建築士会 社会貢献委員会 分科会 “住宅を設計する仲間達”

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ www.jutaku-nakama.com/
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 立間まで
06-6947-1961 tatsuma@aba-osakafu.or.jp

住宅を設計する仲間達 建築士 リスト 2016-17

家づくりの

『住宅
大阪府
が得意な建
あなたにピッ
お問い合わせく

- 公法社団法人 大阪府建築士会
JUTAKU NAKAMA
- 住宅を設計する仲間達とは
 - 建築士に任せるメリット
 - 具体的な流れ
 - まんが～家作りストーリー～
 - 土地の選び方
 - 住宅ローンについて
 - 建築士を探す

建築士に任せるメリットは何?

ホームページの
抜粋版です

家づくりは、頼
「住宅を設計する仲間達」は、住宅を設計するプロ（建築士・建築設計事務所）の集まりです。3,000人が在籍する公益社団法人大阪府建築士会は、住宅一部の会社志願者の上と建築士の職能に対する建築士会を創り上げていくプロセスをいっしょに楽しみましょう。

自然と住まいがやさしく調和することを心がけています。風や光に季節を感じ、家族の一人ひとりにとって心地よく癒される住まいを“粋でおしゃれに”デザインさせていただきます。吟味した杉で体がよるこぶ空気をつくり、子どもから大人まで 脳を元気に健康で安全で安心して暮らせる家を丁寧につくらせて頂きます。

建築士賠償責任 補償制度 (けんばい)

平成26年改定

新たな2つの補償

補償内容の拡大の声に答えて誕生した、新しい「けんばい」

これまでの「けんばい」では、建築物に外形的かつ物理的な「滅失・破損」のない場合には、原則として補償されませんでした。例えば、構造計算ミスにより建築物が建築基準法に達していなかった場合に、建築物に外形的かつ物理的な「滅失・破損」が発生していなければ保険の対象外でした。

平成26年4月より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害に対応できるように改定することに致しました。

改定のイメージ

起 因 設 計 ・ 監 理 業 務 に 関 連 す る 賠 償 責 任	滅失・破損 あり		↑ 従来の けんばい ↓	↑ 本年度の 標準セットプラン ↓
	滅失・破損 なし	建築設備が著しく機能を発揮できない場合の補償 (給排水設備、電気設備、空調設備、住宅の遮音性能)		
		法令基準未達補償 New ※補償対象外とすることも可能です。	構造基準未達補償 New	

新たに追加された2つの補償

●法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損の有無にかかわらず、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損の有無にかかわらず、「建築基準法第20条1、2、3号建築物の構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

※建築士賠償責任補償制度(けんばい)の改定についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。

設計・監理リスクに備えた
建築士会会員のための補償制度

謹賀新年 2018

大阪府建築士会役員

見える社会貢献活動へ

宮崎 八郎

宮崎建築設計事務所
大阪市中央区西心斎橋1-1-11
(心斎橋西ビル8F)

柳川 陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル6F)

岡本 森廣

全日本コンサルタント株式会社
大阪市浪速区港町1-4-38

澤本 侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スマタビル10F)

上田 茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

田中 義久

株式会社 田中都市建築事務所
(TANATOSHI DESIGN NET)
TANATOSHI Osaka 大阪市中央区本町橋5-14
(OZビル本町橋902)
TANATOSHI Tokyo 東京都大田区上池台1-7-16-218

本年も宜しくお願い申し上げます

濱田 徹

株式会社 イリア
大阪市中央区城見2-2-22
(マルイトOBPビル9F)

飯田 英二

株式会社 IMOデザイン
宝塚市武庫川町4-3-711

尾鍋 裕実

尾鍋建築設計事務所
藤井寺市小山9-11-17

大阪建築界の活性化のため頑張ろう！

人にやさしく

徳岡 浩二

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD(YANGON)
大阪市北区西天満6-3-11-205
大阪・東京・兵庫・滋賀・九州

沼田 亘

株式会社 昭和設計
大阪市北区豊崎4-12-10

森田 茂夫

アトリエ クレオ

山城 健児

コーナン建設株式会社
大阪市北区大淀南1-9-10

横田 友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

あけましておめでとうございます。

謹賀新年 2018

建築設計事務所

あけましておめでとうございます

人、社会、地球環境との共生

宇澤善一郎

ア ト リ エ ・ U
和泉市池田下町1699

奥村雅一

株式会社 アール・アイ・エー
大阪市北区堂山町3-3
(日本生命梅田ビル)

金峰鐘大

株式会社 I A O 竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

夢ある未来の創造

湯浅武夫

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

西村清是

株式会社 浦辺設計
大阪市中央区北浜2-1-26
(北浜松岡ビル4F)

阿波野昌幸

公益社団法人日本建築積算協会
関西支部 支部長

亀井忠夫

株式会社 日 建 設 計
大阪市中央区高麗橋4-6-2

佐野吉彦

株式会社 安井建築設計事務所
大阪市中央区島町2-4-7

建設会社



OBUYASHI

時をつくる ところで創る

大林組

取締役社長 白石 達
専務執行役員
大阪本店長 鶴田 信夫

本 社：東京都港区港南2-15-2 電話03(5769)1111
大阪本店：大阪市北区中之島3-6-32 電話06(6456)7000

100年をつくる会社

鹿島

専務執行役員
支店長 松崎 公一

関西支店：大阪市中央区城見2丁目2番22号 電話06(6946)3311
本 社：東京都港区元赤坂1丁目3番1号 電話03(5544)1111

竹中工務店

取締役社長 宮下 正裕

大阪本店 大阪市中央区本町4-1-13
TEL06(6252)1201
東京本店 東京都江東区新砂1-1-1
TEL03(6810)5000

大成建設
TAISEI

For a Lively World

専務執行役員関西支店長 金井 隆夫
関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504
本 社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

謹賀新年 2018

建材・設備会社 他

ナイスジョイント

ステンレス製=給水・給湯・冷温水配管用管継手

ISO9001
ISO14001
認証取得

オーエヌ工業株式会社

代表取締役社長 中村政弘

■本社・工場 〒708-0011 岡山県津山市上田邑3235-2
TEL (0868) 28-0171(代) FAX (0868) 28-4254

Hyper-MEGA, Hyper-ストレート, HBM工法
NAKS, RODEX工法



日本コンクリート工業株式会社

本社 〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目6番14号(NC芝浦ビル)
基礎事業部 ☎(03)3452-1081 FAX(03)3452-1125
大阪支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場4-11-28
☎(06)4963-6911 FAX(06)4963-6916
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-11-5(エステート名古屋ビル)
☎(052)581-0666 FAX(052)541-2530
四国支店 〒760-0022 香川県高松市西内町4-6(神原ビル)
☎(087)897-2984 FAX(087)897-2986

一般社団法人 **大阪電業協会**

会長 前田幸一

〒530-0055
大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル
TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079

「サービス提供」から「価値共創」へ



一般財団法人

日本建築総合試験所

理事長 井上一朗

〒565-0873 吹田市藤白台5-8-1
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784
<http://www.gbrc.or.jp>

住まいに、人に、安心を。

住宅相談・住宅情報提供・各種研修事業
住宅展示場の企画・運営
住宅性能評価機関・住宅保険取扱機関



一般財団法人大阪住宅センター

大阪市中央区南船場四丁目4番3号 心斎橋東急ビル4階
電話番号 06-6253-0071

一般社団法人 **日本建築材料協会**

会長 立野純三

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348
支部 関東・中部・中国・四国・九州
<http://www.kenzai.or.jp>

一般社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

会長 古新亮英

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル3階
TEL 06(6271)0175 FAX 06(6271)0177

学校法人 福田学園

OCT 大阪工業技術専門学校

OHSU 大阪保健医療大学

OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <http://www.fukuda.ac.jp>



FUKUDA GAKUEN

謹賀新年 2018

建材・設備会社 他

DESIGNER'S NETWORK

株式会社 ディーネット

代表取締役 宗次 健太

〒660-0828 尼崎市東大物町2-1-21 TEL.(06)6483-6308

スマホで撮った写真を、アプリを使って自分でレイアウト!

PUBLICA パブリカ フォトブックがかんたんに作成できます!!



APP STORE から
アプリを無料ダウン
ロード (iphone)



LINE アプリ
を無料ダウンロード
(iphone・Android)



例えば 140mm×140mm×28P 1冊 500円 他にも多様なサイズを取り揃え!

CHUWA 中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188



カメラ+タッチパネル付きディスプレイを
搭載した新型ダムウエーター

総合エレベーターメーカー

クマリフト

小荷物専用昇降機 / ダムウエーター
人荷用・荷物用エレベーター
いす式階段昇降機 / 自由生活

本社：大阪市西区京町堀 1-12-20
TEL：0120-07-0570
HP：www.kumalift.co.jp

ビル・マンションの大規模修繕工事

高分子株式会社

代表取締役 山口 朗

〒599-8271 堺市中区深井北町3418-1
TEL 072-278-4157(代表)

夢のレンガを積みあげよう

都窯業株式会社

大阪市北区西天満 2-8-1 大江ビル
☎(06)6367-0389 FAX(06)6367-5567
E-mail:info@miyakoyogyo.com
HP :http://www.miyakoyogyo.com



断熱・吸音・耐火材料

ロックワール工業会

理事長 武井 俊之

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-21-13 東洋ビル4F
TEL.(03)5835-2569
FAX.(03)5835-2570
ホームページ: http://www.rwa.gr.jp

理事会報告

文責 本会事務局

日時 十二月二十日(水) 十六時〜十八時
場所 本会会議室

出席 理事三九名 監事二名

(1) 一二月の当期経常増減額は、収入六、九五八、三九九円、支出一三、四五七、〇四三円、差引△六、四九八、六四四円で、本年度累計の収支差引は二二、〇六六、一二五円を報告して承認されました。

会費収入はほぼ予算額に到達しましたが、会員減少は続いており、今年度の建築士試験合格者の入会を促す活動を強化し会員増強を図ることにしました。

研修活動は、事業が後期に集中し、これまで予算の約四〇%の進捗状況です。特に木造耐震修講習会、監理技術者講習会の受講者が減少し、収入が低迷しています。

(2) 本会のインスピレーション活動について、一月度理事会に引き続き再議しました。

論点は、本会では売主・買主が安心して既存住宅の取引ができる市場を整備・活性化することでトラブルの防止と、空家を減少させることなどを目的として、四月の法改正により可能となる、インスピレーションの結果を活用した既存住宅瑕疵保険を扱う検査機関への登録と、その登録に必要な本会の建築士事務所登録を行うことです。

本会の講習会を修了した多くのインスピクターを活用して、法改正が必要な社会的課題である既存住宅現状調査と既存住宅瑕疵保険を広く普及させることが公益法人である本会の使命であると考えております。理事会では活発な意見交換が行われ、本会が建築士事務所登録を行って実施する業務は、瑕疵保険業務のみに限定することで、全会一致により承認されました。

建築相談室から二十一

電話だからこそ気軽に相談

文 橋本頼幸

疑問に思っても知り合いの建築士や工務店に聞くのは大げさだな、というような相談の窓口として建築士会の電話相談が機能していることがあります。

確認申請は必要か？

木造二階建てでリフォームを考えている。間取りの変更、床の張替え、壁ボード・クロスの変更が中心で、床面積が増えることは無いとのこと。このリフォームで確認申請は必要かという相談でした。電話相談では、情報が限定されるので「絶対やりません」とはいえませんが、「話を聞く限りでは不要だと思われませんが、心配なら行政の窓口で確認してください。確認申請は不要であっても法律は守る必要があるので注意してください」と担当相談員は回答したとのこと。その後「業者の建築士(二級)は説明する義務はあるのか？」と問われています。「説明義務まではないがしてもらっても良かったでしょうね」というやり取りのようでした。

〇〇といわれたが本当か？

業者「建築士：知り合いなどに」〇〇といわれたが本当か？という相談はよくあります。路地状の敷地に賃貸マンションを建設しようとしているが、路地状部分が二〇mあるので接道幅が四m必要と言われたが本当か？という相談。おそらく正しいのですが、さすがに電話相談だけでは正確に回答するのは難しく相談は面接相談にしているようでした。これに限らず、建築士や業者から言われた事項の「本当か？相談」はほとんど本当なのですが、違う人にも確認を取りたいというセカンドオピニオン的な心理も働くのかもしれない。

〇〇って何ですか？

これもよくある相談の一つです。「剛床とはなんですか？」ということだけを尋ねられたことがあったようです。別の日に別の方からも「長期優良住宅耐震等級三で計画しているが、床の仕様(剛床)や耐震等級三はどんな内容か？柱状改良とは何か？」について質問があったようです。これらの専門的な相談に対して、専門でない一般の方を相手に電話で説明して、理解してもらおうのはとても困難です。現に前者の相談では、担当相談員は四十五分も説明して、最終的に「理解していない」との印象を受けたと記録に残されています。心配なら面接相談を、と勧められています。後者の相談では「フローリングの種類と施工法について、屋根の仕上げについて」にも問い合わせがあったようです。担当相談員は三十分程度の説明をされたようです。いずれも、理解したか、納得したかについては「難しい」といわざるをえないでしょうが、そういった相談について第三者が説明をすることは、たとえ正しく理解できなかつたとしても相談者の満足度につながるのではないのでしょうか。

気軽に相談できる先として

建築にまつわる相談先には種々ありますが、電話で毎日気軽に相談できるのが本会の特徴でもあります。ここで紹介しようとした「知り合いの建築士や工務店、行政の窓口」に聞くには少し大げさな気がするし、まして、全然知らない設計事務所や電話して聞くこともできない」と思ったときに、相談をする相手として、本会の電話相談の役割があるように思います。また、本来の設計者である建築士や業者に確認すべきことやセカンドオピニオンとして意見を聞くことができるというのも、気軽に電話で相談できるからこそだと考えられます。

編集後記

河合哲夫

本誌二〇一六年四月号建築人(けんちくびと)に登場頂いた山中孔氏が、二〇一七年十二月に逝去されました。享年九十二歳。竹中工務店設計部時代はもとより、同社を退職された後も関西の建築界に影響を与えて来られました。氏は、私の会社の大先輩として、設計者として、一人の人として、多くの教えを語ってくれました。

特に氏は生涯を通じて「住まいの改善」に情熱を注がれ、居間に直接アクセスする「リビングアクセス」の住まいを理想とされていきました。家族のいる居間にアクセスすることで自然に挨拶が交わされる、「礼」が育まれる住まいの大切さを説かれたのです。角界の事件や緊張感の高まる国際情勢等、二〇一七年を振り返るニュースが流れる中、「人が社会生活を送る上で最も大切にしてほしいといけない」と氏が説かれた「礼」という言葉がますます重く響いてきます。氏から教わったことをいかに伝え、活かしていけばよいか。掛替えない宝物と大きな過ぎる課題を私に遺して逝かれました。氏のご冥福を心からお祈りします。

建築人 1 2018

監修 公益社団法人大阪府建築士会
建築情報委員会
編集 建築情報委員会『建築人』編集部
委員長 飯田英二
編集人代表 荒木公樹
編集人 河合哲夫 北 聖志
黒川祐樹 曾我部千鶴美
橋本頼幸 丸子勇人
牧野隆義 茂籠一之
事務局 山本茂樹 母倉政美
印刷 中和印刷紙器株式会社



淡路瓦イズム

『黒燻 (いぶし) 瓦・レンガ』

栄和瓦産業株式会社

<http://www.eiwakawara.com/>

取材：丸子勇人／建築情報委員会委員

時間が経っても変わらない素材があったら、みなさんはどう思いますか？半永久的に変化なく、絶対的な存在感を醸す瓦を今回は紹介します。栄和瓦産業で取り扱っている「黒燻」シリーズです。

取材の中で実際のサンプルを見たとき、その「黒さ」に本当に驚きました。なぜなら、今まで見たことがないような黒だったからです。世の中には黒い色の服や車など、様々な製品が存在していますが、「黒燻」の黒さは他に類を見ない質感です。取材をさせていただいた濱口代表取締役様に聞くと、定量的な値として明度 (V) 3.4、彩度 (C) 0.0 と絶対的な黒に近い数字ですが、驚くべきはその表面の肌理です。表面の目には見えないような微小な凹凸部から光を奥へ奥へと吸収している、そう感じさせる雰囲気を出していました。さらに面白いことに、太陽光に照らされると薄く光を放ち、またその表情を一変させるのです。また雨に濡れると表面に付着した水分と反応して黒さの質が変化します。本当に不思議な感覚です。

取材を通して、だんだんその理由がわかってきました。黒燻を生成する過程におい

て、通常はいぶし瓦の焼成温度とは異なり、1080℃と高温で焼成することにより、淡路特有である土の中に多く含まれた鉄分 (Fe) が四酸化三鉄 (Fe_3O_4)、いわゆる黒錆へ変化します。釉薬は一切使っていない、素材のみで生み出される自然な色合いです。この黒錆が非常に緻密な瓦を形成し、安定した絶対的とも思わせる黒さを発色するわけです。

その特徴は色味に留まりません。その緻密性により、その表面も通常の銀いぶしのデリケートな炭素膜よりも、高硬度で傷がつきにくく、吸水率も4～5%と低いため、寒冷地でも問題なく使用することができます。黒燻シリーズでは、通常の瓦の形状だけでなく、煉瓦状や床タイル状の形状も生産しており、通常傷がつきやすい床や壁などに使用することにも適しています。

一方、黒燻の製品化に伴い、当初、生産過程におけるいくつかのデメリットがあったそうです。例えば、通常より高い温度で焼成するため、燃料費がかかります。さらに通常より収縮率が高く、ねじれが発生しやすいため、不良率が上がり、生産性が落ちます。しかしながら長年の開発改善によりそのデメリット

をカバーし、他に類をみない「黒燻」が製品化されました。この新しい瓦が、瓦の枠組みを広げ、淡路瓦業界全体を活性化し、建築の可能性をも広げる、そう感じさせてくれる瓦でした。

ご興味ある方はぜひ問い合わせしてみてください。設計のヒントが見つかると思います。

■淡路瓦のお問い合わせ先
淡路瓦工業組合
兵庫県南あわじ市湊 134
Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030
info@a-kawara.jp
<http://www.a-kawara.jp/>





彦根の家 井上久実設計室

彦根城南東の護国神社を臨み、往来の多い県道と落ち着いた市道に短辺で接する縦長の敷地に、“静かな生活”が求められました。

両隣の建物が立て込んだ環境の中、隣地境界側に沿って外壁を配置し、その内部に大小の建物ボリュームと中庭が交互に連続する空間構成としました。

2つの空間が交互に連続する事で、縦長の敷地の奥行き感が強調されると同時に、喧騒も徐々に減衰され、静かな空間が得られました。またそれぞれの空間を繋ぐ、奥行き方向に貫通する”路地”は、時にリビングと一体となり空間を拡張し、時に路地自身が幅を広げ中庭との関係性を深めるなど、単なる通過動線を越えた空間体験をもたらしています。建物から中庭、中庭から建物の双方向の視線や空間体験とそれに並行する路地空間の拡張的な空間体験が重奏する事で、静けさと同時に豊かさがうまれる事を期待しています。

分節されたそれぞれのボリュームを勾配屋根とする事で、片流れの屋根の連なりが切妻屋根のような心象を与え、彦根の街並みに調和した優しい表情を醸し出しています。

撮影：富田英次 第9回建築人賞奨励賞受賞作品



■プロフィール

井上久実
1967年 奈良県生まれ
1990年 大阪市立大学生活科学部住居学科卒業
1990年 大林組建築設計部入社
1999年 ロンドン在住
2000年 井上久実設計室開設

■建物データ

建築主：田井中聡明
所在地：滋賀県彦根市
用途：1戸建て住宅
竣工：2016年10月
設計：井上久実設計室
施工：西友建設株式会社
敷地面積：278.19平米
建築面積：170.60平米
延床面積：209.54平米
構造規模：木造 地上2階